

民主党の政策は、「地方の切捨て」です。

民主党のマニフェストには、「3つの約束・7つの提言」を実行するために、15.3兆円の財源を発表しています。しかし、この中には、地方をいじめる政策が潜んでいます。「補助金の一括交付化等によるムダの排除 6.4兆円」がそれです。

地方への補助金等は19兆円ですが、一括交付するだけで6.4兆円もの財源がどうして確保できるのでしょうか。これは、地方の「社会保障関係(12.2兆円)・教育関係(2.0兆円)・公共事業(4.1兆円)」などの施策費を切り込まなくてはとてもできないことです。まさしく「地方の切捨て」です。

また民主党は、同じマニフェストの政策各論の中で、「消費税は全額年金財源(基礎部分)に充当します」と明記しています。いま消費税による税収は13.3兆円ですが、国7.5兆円、地方5.8兆円に配分されています。民主党は、これを全額年金に充てようと言う訳ですから、消費税の地方分を巻き上げてしまうことであり、要するに地方を切捨てようとしているのです。

民主党は、「国民の生活が第一」と言っていますが、決して地方の皆さんの味方ではありません。

<現在の消費税13.3兆円の使途>

<p>国 7.5兆円 基礎年金・高齢者医療・介護</p>	<p>地方 5.8兆円</p>
---	----------------------------